

特集 災害ボランティア

9月9日、台風15号が関東地方を襲い、千葉県一帯で大きな被害が出ました。多くの人が、関東地方での台風被害がここまでになるとは予想しなかったのではないのでしょうか。ブルーシートを張った沢山の家屋等、テレビ映像や新聞報道などを目の当たりにし、たいへんな驚きを感じるとともに、今後こういった大規模な被害が多くなっていくのではないかと思ったところです。

「連」では、災害時のボランティア活動はどうなるのか、なにができるのかについて取材しました。

●災害ボランティア活動

【災害ボランティアに行く場合】

さいわいにして、自身の地域が被害にあわなかった場合、「ボランティアに行こう」と考える場合があります。その場合はどうすればよいでしょう。

1. 被害を受けた地域の情報を知る

被害があった県のホームページには詳しい被害状況が出ています。9月28日現在の千葉県のホームページではトップページ「台風15号に関する情報」➡「災害ボランティア支援情報」➡「ボランティア募集中」と見ていきます。(下記例参照)

鴨川市社協 募集範囲：日帰りで活動できる方、
詳細：社協HP

南房総市社協 募集範囲：市内在住者（屋根の上での作業ができる人は、市外在住者でも受入可能）

詳細：FacebookNEW/社協HP/特設ページNEW

などといった具合です。

自分ができる活動があれば、その社協にメールなどで連絡を取り、指示に従います。

※現在は、県内のボランティアのみ募集している社協が多いようです。

2. ボランティアに行く前の準備

事前に必ず「ボランティア保険」をかけます。ボランティア活動中の事故や損害賠償などに対応する保険で、小平市社会福祉協議会で手続きができます。

【問合せ】小平市学園東町 1-19-13 福祉会館 4階

電話 042(346)1424、FAX 042(341)6220

<http://www.syakaifukushi.kodaira.tokyo.jp/>

※活動内容によっては「天災タイプ」への加入が必要です。詳しくは現地の当該社協へ問い合わせて確認してください。

【小平市が被災した場合】

小平市が被災した場合には、地域防災計画に基づき、市が「小平市災害対策本部」を立ち上げます。それを受けて、小平市社会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を開設。被害状況の把握、災害ボランティアの募集とマッチングなどを行います。

ボランティア募集状況は、適宜、小平社協ホームページで発信されるほか、避難所などでもチラシでお知らせしていくとのこと。

ボランティアに来てほしいなどの情報(SOS)も、「災害ボランティアセンター」に連絡します。

【市民活動団体は、なにができるか】

小平市内では、現在250以上の市民活動団体があります(「市民活動団体データ集『むすぶ』、小平市民活動支援センターHP「こだいら人財の森」サイト参照、冊子も配布中)。災害支援に特化した団体ばかりではありませんが、各団体とも、日頃から社会貢献を目的に活動しています。

市民活動団体に期待することを、社協ボランティアセンターの石井さんが話してくださいました。「市民活動団体は、日頃から顔の見える関係でお互いにつながっており、市内にどんな方が住み、どんなニーズがあるかといった情報をたくさん持っています。被災した時には、そのつながりがとても役立ちます。“今必要な、現場の情報”を災害ボランティアセンターに知らせていただくことで、きめ細かい対応ができます」とのこと。

被災後のボランティア活動は、場合によっては長期にわたります。「専門的な知識・経験を必要とするボランティア活動ばかりでなく、日頃の活動の延長線上でのさまざまな活動が役に立ちます」とのことでした。

地震や異常気象による災害は、今後ますます多くなることが予想されます。小平市や個人個人の備えはもちろんですが、住んでいる人々がゆるやかに多方面につながり、それとなく気に掛ける社会を作っておくことが、いざとなったときに役に立つのではないかと強く感じました。(文責・伊藤)